

受付番号	4	受付月日	令和8年2月9日 午前11時18分
------	---	------	----------------------

東郷町議会議員 水川 淳 殿

東郷町議会議員 会派名 公明党

議席番号 4 番氏名 高木 佳子

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 町政に反映された「町民の声」について	<p>町長はこれまで、「まちづくり」は町民の声から始まるものとし、「町民みんなでまちづくり」を掲げ、町政を進めてこられた。</p> <p>その取組の一つとして実施されている「町長と語ろう会」は、開始から1年が経過し、これまでに20回開催されている。各団体や各地区と行政との対話を重ねる中で、新たな事業や改善につながる取組が生まれていると伺っている。</p> <p>そこで、これまでに寄せられた町民の声が、町政にどのように反映され、どのような具体的な取組につながってきたのかを伺う。</p> <p>(1) 「町民の声」について</p> <p>ア 「町長と語ろう会」において寄せられた「町民の声」にはどのようなものがあったか。</p> <p>イ 町民との対話を重ねる中で、生まれた新たな事業、改善について伺う。</p> <p>ウ 町民の声を町政や予算に反映する際に特に重視している点について伺う。</p> <p>エ 町民に対し、その結果をどのように周知されていくか。</p>	町長 担当部長
2 東郷町伝統文化発表会について	<p>東郷町伝統文化発表会は、町内で受け継がれてきた伝統文化を次世代へ継承するとともに、町民に広く親しんでもらう大切な機会であると考えている。</p> <p>一方で、せっかくの機会であるにもかかわらず、鑑賞者が少なく、来場者が限られているのではないかと感じている。</p> <p>今後、より多くの町民の皆さまに伝統文化に親しみ、観ていただけるようにしていくためには、さらなる工夫や取組が重要であると考えている。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p>	町長 教育長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>3 無料耐震診断について</p>	<p>(1) 鑑賞者を増やす取組について ア これまでの来場者について、どのように捉えているか。 イ 周知や広報について伺う。 ウ 子どもや子育て世代、若い世代が伝統文化に触れる機会を広げる観点から、今後どのような工夫や新たな取組を検討されているか伺う。</p> <p>(2) 来年、節目を迎えるにあたっての取組について ア 来年、伝統文化発表会が20回という節目を迎えることについて、町としてどのような意義を持つと考えているか、見解を伺う。 イ 20回の節目を機に、これまでの歩みを振り返り、記念となる発表会の実施をしてみたいか。 ウ 町として、継続的に伝統文化を支えていくための取組や考えを伺う。</p> <p>耐震診断は、改修工事への第一歩であり、町民が「自宅の安全性を知る機会」でもあると考える。本町においても、旧耐震基準で建築された住宅を対象に無料耐震診断を実施している。しかし、熊本地震では、新耐震基準でも被害が発生したという例もあり、本町における無料耐震診断制度のさらなる充実が必要と考え伺う。</p> <p>(1) 無料耐震診断について伺う。 ア 現状についてどのように捉えているか。 イ 耐震診断ローラー作戦を実施された際の住民の反応（声）はどのようなものがあったか。</p> <p>(2) 対象年次の拡大について ア 他自治体では診断対象年次を拡大して防災性向上の取組があるが認識を伺う。 イ 本町においても防災・減災の観点から、無料耐震診断の対象年度を引き上げる考えはあるか伺う。</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。